| 学校番号 | Ｔ０２０６ |
|---|---|

# 令和２年度　音楽科

| 教科 | 音楽 | 科目 | 器楽 | 単位数 | ２単位 | 年次 | ３～４年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | | | | | | | |
| 副教材等 | 自作教材 | | | | | | |

## １　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・様々な楽器を演奏します。「音を出す楽しさ」「みんなで合奏する喜び」について幅広く、年間を通して学習します。
・学習の到達度は、授業で配布するワークシートや実技テストを中心に評価します。
・クラスの仲間とともに実際に楽器を演奏し、「音楽」を作ることで、「演奏」に対する考えが深まっていきます。さまざまな楽器に触れ、ともに創り、みなさんの感性や心が豊かなものになることを願っています。

## ２　学習の到達目標

器楽の演奏に関する知識や技術を習得させ、音楽性豊かな表現力を育む。

## ３　学習評価（評価規準と評価方法）

| 観点 | a.音楽への関心・意欲・態度 | b.音楽表現の創意工夫 | c.音楽表現の技能 | d.鑑賞の能力 |
|---|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 各楽器が奏でる要素に関心を持ち、器楽演奏の学習に主体的に取り組もうとしている。 | 各楽器の特徴を理解し、合奏の中でどのように演奏するかについて、工夫し表現している。 | 各楽器の基本的な演奏方法を身に付けている | 各楽器の特色を理解し、それらが生み出す雰囲気を味わうことが出来る。 |
| 評価方法 | 観察<br>ワークシート | 観察<br>演奏 | 観察<br>演奏 | 観察<br>鑑賞レポート |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 内容 | 単元（題材） | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | | 単元（題材）の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | a | b | c | d | | |
| 前期 | 演奏・鑑賞 | アルトリコーダー | アルトリコーダーの独奏方法を学ぶ | ◎ | ○ | ○ | | a:アルトリコーダーの音色に興味を持ち、イメージを高めながら演奏している。<br>b:音色を形作っている要素を感受しながらどのように演奏するかについての思いを持っている。<br>c:適切な運指とタンギングにより、リコーダーの音色を作り出している。 | 観察<br>ワークシート<br>実技<br>鑑賞レポート |
| | | 伝統音楽の鑑賞 | わが国の伝統音楽・伝等楽器について学ぶ | ◎ | | | ○ | a:わが国の音楽の音色や楽器に興味を持ち、主体的に鑑賞しようとしている<br>d:わが国の音楽について、それぞれの音楽を形作っている要素を知覚し、それが生み出す雰囲気を感受している。 | |
| 後期 | 演奏・鑑賞 | | リコーダーのアンサンブルを学ぶ | ○ | ◎ | ○ | | a:アルトリコーダーの重奏に興味を持ち、イメージを高めながら演奏している。<br>b:音色を形作っている要素を感受しながらどのように重奏するかについての思いを持っている。<br>c:効果的な重奏となるようリコーダーの音色を作り出している。 | 観察<br>ワークシート<br>実技<br>鑑賞レポート |
| | | | クラシックギターの演奏を学ぶ | ○ | ◎ | ○ | ○ | | |

※　表中の観点について

a：音楽への関心・意欲・態度

b：音楽的な感受や表現の工夫

c：表現の技能

d：鑑賞の能力

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行なう観点（もしくは重み付けを行なう観点）について、優先度の高いものから、◎、〇、空欄として示している。